

科目名	相談援助演習Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	滝口 真・岡部由紀夫・大川 絹代・大西 良						
開講年次	2	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本演習では、相談援助に必要な専門的価値・倫理（自己決定・守秘義務）について事例を通して説明する。また、資料等を用いながら身近な地域にある福祉ニーズについて理解させ、そこに関わっていく能力を養うための演習を課す。人々の生活と地域社会、社会資源の関連を考えるためのグループ討議や資料の作成を行う。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 相談援助に必要な専門的価値・倫理について理解できる 2) 書籍や新聞等の資料から、現代社会と福祉ニーズの関係について主体的に考える 3) 福祉ニーズをもつ人々への関わり方について理解できる 4) グループの中で他者の意見を尊重して聞くことができる 5) グループの中で自分の意見を述べるができる 6) 事例や地域での実践活動報告等を通して、相談援助の実際を感じ取る 7) 書籍やIT等を利用して適切な資料を収集できる 8) 収集した資料を適切な形へ自分なりにまとめることができる 						
学習方法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習方式で行う。						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	◎			30
授業態度	◎		○	○			20
受講者の発表							
授業への参加度		○	◎	○			50
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第1週	オリエンテーション						
第2週	社会福祉実践と相談援助；ソーシャルワーカーの仕事						
第3週	事例を通して学ぶ専門的価値・倫理；自己決定						
第4週	事例を通して学ぶ専門的価値・倫理；守秘義務						
第5週	資料等から「現代社会と福祉ニーズ」について考える						
第6週	現代社会における福祉ニーズへ関与（グループ討議）						
第7週	援助的コミュニケーション；共感的態度						
第8週	援助的コミュニケーション；チームにおけるコミュニケーション						
第9週	地域における相談援助の実際；権利擁護の実践活動報告（全体）						
第10週	地域における相談援助の実際（グループ討議）						
第11週	地域の社会資源と社会福祉制度について考える						
第12週	社会資源について調べる						
第13週	社会資源の利用および活用方法（グループ討議）						
第14週	社会資源に関する報告書づくり						
第15週	まとめ 社会資源に関するプレゼンテーション						
第16週							
備考	【授業外の学習】・受講前には「相談援助の理論と方法」等の講義で学習した範囲を復習しておくこと 【その他】・出席回数が開講回数の2/3に満たない場合は、評価対象としない						